

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

'17・'19アプリコットF1/F1A(TCF4713系,4713AM系 他)・
 '17・'19アプリコットF2/F2A(TCF4723系,4723AM系 他)・
 '17・'19アプリコットF3/F3A(TCF4733系,4733AM系 他)・
 '17・'19アプリコットF3W/F3AW(TCF4833系,4833AM系 他)用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

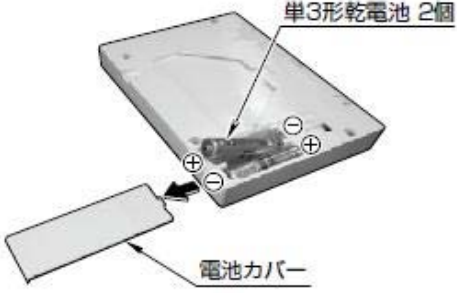

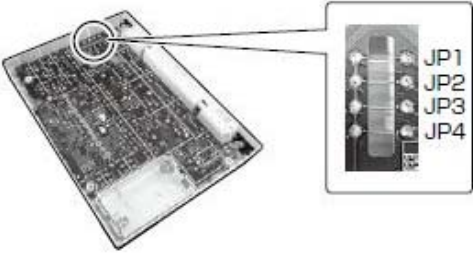
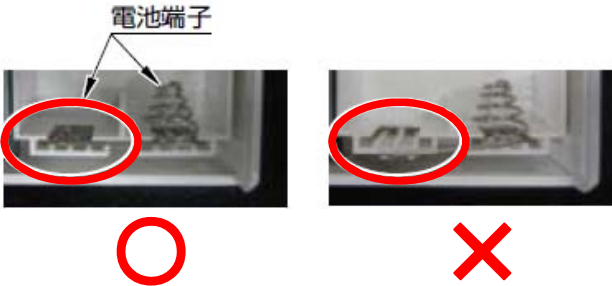

特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

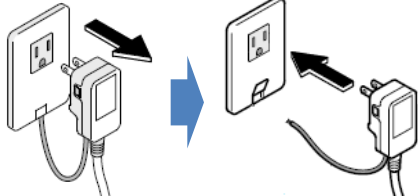
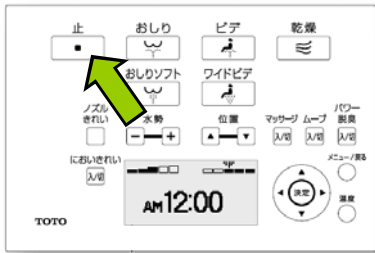


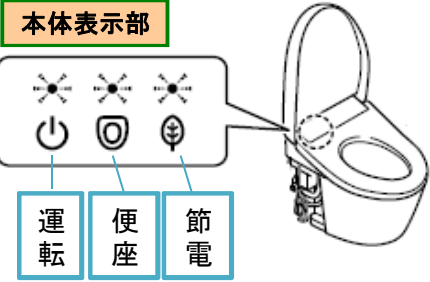
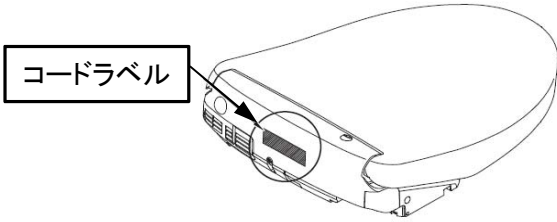
2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ イ 1 プ) 1	(タ イ 2 プ) 2	正 規 品	(タ イ 1 プ) 1	(タ イ 2 プ) 2
(タ イ 3 プ) 3	(タ イ 4 プ) 4	(タ イ 5 プ) 5	(タ イ 3 プ) 3	(タ イ 4 プ) 4	(タ イ 5 プ) 5

<<設定方法>> ◆設定変更が下記説明書で行えない場合は、[TOTOメンテナンス](#)へご依頼下さい。(有償)
 ◆作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

注: 基板には触らないようにお願いします。人体の静電気破壊するおそれがあります。




手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																								
1		<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。</p> <p>②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p>③「止」スイッチを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (電源が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!!</p> <p>電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div>																																																							
2		<p>リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。 ◆裏板を外す際は、上側から外してください。 (下側から外すと外れにくい場合があります。)</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!!</p> <p>基板には触らないようにお願いします。 人体の静電気破壊するおそれがあります。</p> </div>																																																							
3	 <p style="text-align: center;">◎: つながったまま ×: 切断</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジャンパ線 JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	ジャンパ線 JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!!</p> <p>◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div> <p style="margin-top: 20px;">リモコン基板上の3本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																															
ジャンパ線 JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																															
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																															
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																															
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																															
4		<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れてリモコンを取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!!</p> <p>裏板を取り付ける前に、電池端子が正しく取り付けられていることを確認してください。</p> </div>																																																							
5	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>例</p> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div>	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																							

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)																																												
6	 <p>ウォシュレット本体の電源プラグを抜き、再度差し込む。 (イニシャル動作をする。)</p> <p>◆設定中の製品以外は電源を投入しないこと。</p>																																												
7	 <p>ウォシュレット本体のイニシャル動作後 (電源が「入」になってから2分以内に)、</p> <p>リモコンの  ボタンを「10秒以内に5回」押す。</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>ウォシュレット本体の表示部が、下表に従って5秒間点滅する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="252 651 683 931"> <p>本体表示部</p>  </div> <div data-bbox="694 696 1506 943"> <p>本体ランプ表示一覧</p> <p>●…緑点滅 ▲…橙点滅 ×…消灯</p> <table border="1" data-bbox="703 779 1490 931"> <thead> <tr> <th>設定コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>便座</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>節電</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	運転	●	×	●	×	●	×	●	●	×	●	便座	●	●	×	×	●	●	×	●	●	×	節電	●	●	●	●	×	×	×	▲	▲	▲
設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																			
運転	●	×	●	×	●	×	●	●	×	●																																			
便座	●	●	×	×	●	●	×	●	●	×																																			
節電	●	●	●	●	×	×	×	▲	▲	▲																																			
8	 <p>ウォシュレット本体の裏面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p>																																												

◆リモコン側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

《参考》

■下記の操作で現在の連立設定状態を確認することができます。

- ①リモコン  を10秒間押す
- ②液晶画面より  ボタンで『本体 連立設定確認』を選び、 ボタンを押す
- ③ウォシュレット本体ランプ5秒間点滅(『手順7』の表に従って点滅します。)